

村山市立小学校西部地区統合準備委員会（第7回）

日時 令和7年9月25日（木）18：30～

場所 農村環境改善センター 多目的ホール

議事 次第

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 教育長あいさつ

4 議 事

（1）経過報告・今後の予定等について **【資料1】**

（2）葉山学園校歌及び制服等に関するアンケート調査について **【資料2】**
（総務部会）

（3）給食施設・分科会・学童について **【資料3】**
（学校運営部会）

（4）葉山学園校舎教室配置計画（案）について **【資料4】**
（校舎整備部会）

（5）その他

5 閉 会

第7回村山市立小学校西部地区統合準備委員出欠者名簿

□委員

(順不同・敬称略)

No.	カテゴリー	氏 名	所属団体等	所属部会	備考
1	地域代表	奥山 陽介	大久保地域代表	校舎整備	
2		石川まゆみ	富本地域代表	地域連携	
3		青柳 孝雄	村山戸沢まちづくり協議会長	総 務	委員長
4		佐藤 紀彦	大高根地域代表	校舎整備	
5	学校保護者	佐藤 喬一	村山市立大久保小学校PTA会長	地域連携	副委員長
6		小林 陽介	村山市立富本小学校保護者	学校運営	
7		青柳 悠平	村山市立戸沢小学校保護者	総 務	
8		井上結香子	村山市立富並小学校保護者	学校運営	
9		伊藤 真司	村山市立葉山中学校PTA副会長	校舎整備	
10	認定こども園代表	奥野 直樹	村山市はやま認定こども園保護者	学校運営	
11		黒沼 梢	認定こども園ふたば大高根保育園保護者代表	地域連携	
12	小中学校代表	尾崎 惣	村山市立大久保小学校長	教育課程	
13		鈴木 郁子	村山市立富本小学校長	教育課程	
14		高橋 文明	村山市立戸沢小学校長	教育課程	
15		工藤 美紀	村山市立富並小学校長	教育課程	
16		早坂 智	村山市立葉山中学校長	教育課程	

□事務局（村山市・村山市教育委員会）

No.	所 属	氏 名	兼 務	主担当部会	備考
1	教育長	大内 敏彦		-	
2	学校教育課 課長	細谷 充	学校統合推進室 室長	総 務	班 長
3	教育指導室 室長	村田 紳	学校統合推進室 室長補佐	教育課程	副班長
4	学校教育課 課長補佐	高橋 留美		総 務	副班長
5	庶務主査	秋久保洋紀	学校統合推進室 推進主査	学校運営	班 長
6	庶務係長	鈴木 夕佳		総 務	副班長
7	栄養業務員	石山 陽子		学校運営	(欠席)
8	施設係長	細谷 祐太	学校統合推進室 推進係長	校舎整備	班 長
9	学事主査(兼)係長	森 忠昭		学校運営	副班長
10	主事	海老名秀喜		校舎整備	副班長
11	指導主査(兼)指導主事	森谷 洋子		教育課程	副班長
12	指導係長(兼)指導主事	半澤 宏樹		地域連携	副班長
13	学校統合推進員	井澤 豊隆	学校統合推進室 学校統合推進員	地域連携	班 長
14	学校統合推進員	笹原 聡	学校統合推進室 学校統合推進員	教育課程	班長(欠席)
15	生涯学習課 課長補佐	柴崎 造		地域連携	
16	主事	大山 温子		地域連携	
17	子育て支援課 課長補佐	菅原 憲一		学校運営	

※事務局担当者は、記載されている主担当部会の他にも所属している部会があります。

村山市立小学校西部地区統合準備委員会 資料

1 事業報告

No.	期日	曜日	事業名	会場
1	7月29日	火	第6回村山市立小学校西部地区統合準備委員会	農村環境改善センター
2	7月30日	水	葉山学園改修設計に係る校舎内覧会（1回目）	葉山中学校
3	7月31日	木	葉山学園改修設計に係る校舎内覧会（2回目）	〃
4	8月18日	月	校舎整備に係る助言及び教科教室講習会	〃
5	8月19日	火	視察研修（上山きらり学園、西山形小学校）	上山市、山形市
6	8月21日	木	大久保小学校利活用現場視察	大久保小学校
7	9月1日	月	葉山中学校教諭への改修図面説明会	葉山中学校
8	9月2日	火	学校運営部会作業班打合せ③	村山市役所内
9	9月4日	木	校舎整備部会作業班打合せ③	農村環境改善センター
10	9月5日	金	第2回校舎整備部会	葉山中学校
11	9月9日	火	校長会コミュニティスクール説明会	楯岡中学校
12	9月12日	金	総務部会作業班打合せ④	村山市役所内
13	9月17日	水	第2回葉山学園制服分科会・第3回総務部会	農村環境改善センター
14	9月18日	木	校舎整備部会作業班打合せ④	〃
15	9月19日	金	第3回学校運営部会	〃
16	9月25日	木	第7回村山市立小学校西部地区統合準備委員会	〃

2 事業予定

No.	期日	曜日	内容	部会

3 今後の会議予定(案)

No.	期日	曜日	事業名	会場
1	11月27日	木	第8回村山市立小学校西部地区統合準備委員会	村山市農村環境改善センター
2	1月27日	火	第9回村山市立小学校西部地区統合準備委員会	村山市農村環境改善センター
3	3月26日	木	第10回村山市立小学校西部地区統合準備委員会	村山市農村環境改善センター
			※各専門部会、作業部会、分科会は随時開催	小会議室 等

令和 7 年度

葉山学園の校歌及び制服等に関するアンケート調査

1 調査の目的

葉山学園における校歌及び制服・体操着等のあり方や今後の方向性を検討する際の参考とするため、学区内児童生徒や保護者、教職員、住民を対象に校歌選定や制服等に対するイメージ、ニーズ等について調査を実施。

2 調査対象（市内西部地区）

小学校児童 5、6 年生及び葉山中学校の 1～3 年生

小・中学校保護者

幼児保育施設保護者

小・中学校教職員

住民（校歌のみ）

3 調査方法

LOGO フォームを利用したインターネットによる回答

4 調査期間

令和 7 年 8 月 25 日～9 月 7 日

5 回答者数（回答率）

小・中学校児童・生徒 88 人（小学校 80.0%、中学校 31.3%）

小・中学校保護者 88 人（小学校 37.9%、中学校 14.8%）

幼児保育施設保護者 25 人（21.6%）

小・中学校教職員 42 人（小学校 60.4%、中学校 42.9%）

住民（校歌のみ） 12 人

※小・中学校及び幼児保育施設の保護者は、子どもが複数いる場合、回答は 1 回とした。

【校歌に関するアンケート結果を踏まえた各委員からの意見】

- ・葉山中の校歌は難しいかもしれないが、子どもたちはすぐに覚えて歌えるのではないかな。
1年生は「～まで歌う」、最初はひらがなにしておいて歌詞を覚えるというように、歌い方や運営の方法は工夫すればいい。
- ・村川千秋さんが作曲された校歌を大事にすべきではないかな。
- ・校歌の歌詞には葉山中学校の文字が入っていないので、そのままでもいいのではないかな。
- ・将来的なことを考えると、葉山学園が何年続くかわからない部分もある。葉山中の校歌はまだ20年しか歌われていない。やっと20年たったところ。大事にしてもらいたい。

第2回葉山学園制服等分科会

令和7年9月17日（水）18：30～

【制服等に関するアンケート結果を踏まえた各委員からの意見】

○制服について

- ・制服の必要性については、各委員とも制服は必要という認識で同意。
- ・5年生から着用となると2回の買い替えが必要になると考えられる。保護者の経済的な負担を考えると7年生からが望ましいのではないか。
- ・今までの流れからすると6・3制のイメージがあり、4・3・2・の3つのブロックに分けたとき、7年生は部活動や教育課程で後期ブロックとつながりがあるなら、7年生から分けてもいいのでは。または8・9年生が制服を着るというのでもよいと思う。
- ・制服は子どもにとってのあこがれであり、中期ブロックの最高学年である7年生が制服を着ることでリーダーだと実感することもあるのでは。5・6年生を引っ張っていくという意識につながると思う。
- ・7年生からの着用でいいと思う。気持ちの切り替えという点でも。
- ・7年生からの着用でいい。買い替えは負担であり、保護者にとっては厳しいと思う。
- ・デザインについては「おさがり文化」が大きく、ガラッと変えなくていいのでは。
- ・児童生徒や保育施設の保護者は新しいデザインを望む回答が最も多かったが、一方で葉山中のデザインの継続を望む声とそれほど差がなかった。小中学校の保護者の意向を大事にするべきではないか。
- ・葉山中のデザインのままでいいと思う。夏服については現在もあまり使用されておらず、見直す必要がある。
- ・保育施設の保護者は新しいデザインを望む声が多かったが、まだ先のことという気持ちがあるのだと思う。小中学校の保護者の意見を尊重するべきでは。
- ・夏は現状体操着を着ているが、式典があるので夏服は必要だと思う。
- ・先輩の保護者から夏用のズボンは買っても着る機会がないのでいらないと教えられた。保護者の中では買わない人が多く、自分も買わなかったので必要ないと思う。
- ・近年の酷暑で6月から体操着での登校となっている。通年で履けるようなズボンにして、夏はポロシャツ、冬はブレザーをあわせるといいのではないか。

○体操着

- ・白いシャツは透けるのが気になるし、汚れも目立つので黒や濃い色にした方がいい。色付きの体操着は増えてきている。
- ・ポロシャツで運動できるか？ →できなくはないが、体操着は速乾性が必要だと思う。
- ・今の体操着は丈が長くて、暑さを考えるとズボンの外に出して着せてあげたいが、長すぎてもみっともない。今はズボンの中にシャツを入れるように指導しているが暑いと思う。

○通学カバン

- ・近隣の学校では指定せず、校章の入っていないカバンを使う学校も増えている。
- ・低学年はだいたいモンベルのワンパックを使っているようだ。1年生はワンパックからスタートしていいのでは。今の葉山中の指定カバンが小さければモデルチェンジが必要かと思うが、カバンもおさがりを使っているのであれば、そこは引っかけるところ。
- ・何種類かの推奨品を決めて、選択できるようにすればいいと思う。
- ・通学カバンは指定しなくてもいい。ワンパックは軽くていいと思う。低学年では指定のカバンを設けず、7年生から指定カバンにするといいのでは。
- ・自転車通学で負担がないのはリュック型か？今使っている指定カバンのようなヨコ型のカバンは使いやすいのか？タテ型が主流になってきているようだが。→ヨコ型は教科書などを入れやすく、入れたものを見やすい。
- ・葉山中の指定のカバンは小さくないのか。→学期末にたくさんの教科書を持ち帰るときなどはパンパンになるが、日常的にそういった状態になるわけではない。ただ、タブレットを持ち帰るときはクッション性がないと心配である。
- ・指定カバンを何年生から使うかは制服に合わせてよいのではないか。5～6年生でカバンが壊れたりした場合、指定のカバンを使えるようにするかなども考えなければならない。

○内履き

- ・現在、小学生は色が白であればひも付きでもマジックテープ付きでもいいことになっているが、6年生になると中学校の指定の内履きを履く子もいる。
- ・カバンと同じように推奨品を決めて選べるようにしたらいいと思う。
- ・子どもの内履きはすぐにサイズアウトしてしまう。色を決めて、推奨品をあっせんという形にして、自由に選択できるようにすればいいのでは。
- ・自由にした場合、部活動で使うバッシュなどを履く子も出てくるかもしれない。個性を出したい年頃でもあると思うが、ある程度指定はした方がいいのか。
- ・1～6年生は白い色であれば自由、指定の内履きは制服に合わせて7年生からにしては。
- ・学年で色を別にしたりする必要はない。現在もそのようにはしていない。

○外履き

- ・外履きくらいは好きにさせてあげていいのでは。
- ・外で体育をするときに履くということも考えると指定したほうがいい。
- ・アンケート結果からも指定でなくていいと思う。指定の外履きは重たそう。→今は、部活動の時など、全力で何かするときには別のものに替えているようだ。
- ・アンケートでは指定の外履きは7～9年生という回答が多い。いいのは盗まれてしまう。ある程度指定した方が楽ではないか。おしゃれしたいのはわかるが。
- ・安全性も大事なので保障したい。ケガはさせたくない。
- ・まったく同じでなくても、白系の運動靴ならいいとすればいろんなお店から買える。条件を付けて、3～4種類から選択できるようにするといい。

【資料 3】

西部地区統合準備委員会 学校運営部会

令和 7 年 9 月 19 日（金）18：30～20：30

1 前回までの内容確認・経過報告等について

《事務局説明》

- ・給食施設については、大久保小を改修し葉山学園に運搬する方式とする。
- ・プールについては、壁面やプールサイドの改修を行う。
- ・通学路の設定やスクールバス関連については、2 kmを基準に検討していく。
- ・学童については、統合後も各地域で継続していく方向で検討する。

【委員からの意見】

- ・スクールバスの乗車基準が 2 kmとのことだが、統合タイムズには掲載されているか。2 km基準では現大久保小児童が乗車できないため、保護者説明や決定事項の周知などは早めに行っていただきたい。
- ・給食、学童、通学については保護者の関心が高い印象がある。

2 給食施設の方向性について

《事務局説明》

- ・市での庁内会議結果について、経費なども考慮した資料を提示し説明。

【委員からの意見】

- ・配送業者はどうするのか。また、葉山学園に新設する場合に比べ、毎年配送費が発生するため、いつかは逆転するのではないか。

3 給食分科会の設置について

《事務局説明》

- ・給食施設などのハード面だけでなく、食育や地産地消、有機野菜など、より良い給食のあり方などについて検討していく会議体を設置してはどうか。統合に係る分科会でいいのか、枠を超えた市全体の協議会という形がいいのかは検討が必要。

【委員からの意見】

- ・地産地消であれば、村山でも多く作られている米から取組んではどうか。
- ・子どもが小学校の時の米がおいしかったと言っている。地元産であれば、よりおいしいものを提供できるのではないか。
- ・予算の都合があると思うが、取組める範囲を明確にしてほしい。
- ・映画「夢見る給食」の話を聞いて、有機野菜がいいのはわかるが給食だけで体がよくなるわけではないと思う。
- ・村山市の農家だけでの取組みは難しいと思う。
- ・分科会といった検討会があることは良いことだと思う。

4 学童について

《事務局説明》

- ・学童の方向性は、統合後も各地域において学童保育を継続していくこととする。
- ・学校統合後、学童においても統合の要望があった場合は、集約を検討する。
- ・年少児から小学3年生を対象としたアンケートを実施する。

【委員からの意見】

- ・富本はなぜ旧市民センターへ戻すのか。地滑りや耐震化の問題で移動した経緯がある。保護者や地域からの多くの反対が予想され、必ず問題となる。説明会等を開催するのであれば、それなりの根拠が必要。
- ・閉校後でもグラウンド、体育館などは使えるのか。維持管理者などの検討が必要ではないか。
- ・アンケートは、実情がわかる現利用者にもしていただきたい。
- ・アンケートの結果、統合してほしいという要望があるかもしれない。できるだけ早く実施すべきではないか。
- ・学童は、放課後の子どもの大事な時間であり、ゲームだけでなく指導者を交えたスポーツなど、内容を工夫して運用してもらえるとありがたい。
- ・もし統合となった場合、NPOと地域協議会でどちらが担うのか、連携できるのかなど調整が必要になるかと思う。情報収集しておくべき。
- ・運営者により、内容や利用料の設定が異なるため、統合となると保護者にギャップが生じられる。もしそうならば丁寧な説明をお願いしたい。
- ・統合すると、送迎に時間を要すことも考えら負担が大きい。検討をお願いしたい。

【西部地区】

市の方向性：大久保小学校ランチルームを改修し、葉山学園へ運搬する（準センター方式）

（単位：円）

1 現状方式（R7） （小学校＝自校方式） （中学校＝デリバリー方式）	2 単独校調理方式 （自校方式：葉山学園）	3 共同調理場方式 （準センター方式：大久保小⇒葉山学園）	4 民間調理配達方式 （デリバリー方式）
	≪主なメリット≫ ・給食を適温で提供できる ・衛生管理、アレルギー対応可 ・配送不要 ≪主なデメリット≫ ・配膳等の生徒指導上の教師負担増 ・敷地確保と施設、設備投資が必要	≪主なメリット≫ ・近場のため比較的適温で提供できる ・衛生管理、アレルギー対応可 ・敷地確保が不要 ≪主なデメリット≫ ・配膳等の生徒指導上の教師負担増 ・施設、設備投資が必要 ・配送費が発生	≪主なメリット≫ ・短期間での給食導入が可能 ・初期投資、維持経費が最小限 ・敷地確保が不要 ≪主なデメリット≫ ・対応可能な業者が少ない ・衛生管理指導の徹底が必要 ・事故等で遅れる可能性有
給食経費（ランニングコスト）の概算 西部4小学校（245食：児童数180人） 調理業務委託料（9名） 38,000,000 器具更新・修繕 800,000 葉山中（150食：生徒数130人） 調理・配送業務委託料 12,700,000	葉山学園（300食：生徒数240人） 調理業務委託料（6名） 25,300,000 器具更新・修繕 200,000	葉山学園（300食：生徒数240人） 調理業務委託料（6名） 25,300,000 器具更新・修繕 200,000 配送費 7,200,000	葉山学園（300食：生徒数240人） 調理・配送業務委託料 25,400,000
① 51,500,000	② 25,500,000	③ 32,700,000	④ 25,400,000
現状との比較	①-② 26,000,000	①-③ 18,800,000	①-④ 26,100,000
+	+	+	+
改修経費（初期投資）の概算			
西部4小学校（245食：児童数180人） 施設改修費 なし 葉山中（150食） 施設整備費 なし	葉山学園（300食：生徒数240人） 施設改修費（新設） 3億9千万円	大久保小（300食：生徒数240人） 施設改修費（拡張） 1億5千万円	葉山学園（300食：生徒数240人） 施設改修・設備費 3千万円
	3億9千万円	1億5千万円	3千万円

小学校統合における学童保育の運営について

1 基本方針（案）

小学校統合後も、各地域（大久保、富本、戸沢、大高根）において学童保育を継続する。
（楯岡中学校区においても同様）

2 メリット

学童施設を統合した場合、施設の設置場所により児童の自宅から学童施設までの距離が遠くなり、日頃の学童施設への保護者によるお迎えや、春休みや夏休みなどの学校休校日における学童までの保護者の送迎の負担が増える世帯が発生する。

しかし、学童施設をこれまで通り各地域に設置した場合は、これまで同様であることから負担の増加とならない。

3 デメリット

市としては、施設管理費が増加する。

4 利用施設（案）及び運営事業者

大久保地域・・・大久保小学校（地域協議会）

富本地域・・・旧富本市民センターで調整中（NPO 法人）

戸沢地域・・・戸沢小学校（NPO 法人）

大高根地域・・・富並小学校（地域協議会）

※各学童保育運営事業者と協議・検討中

5 その他

- ① また、統合時は各地域に学童保育施設を設置するが、その後において、地域から学童施設の統合に関する要望があった場合は、集約する方向で検討する。
- ② 今後、現年少児童から小学校3年生を対象とした、学童利用に関するアンケート調査を実施予定。

【資料 4】

西部地区統合準備委員会 校舎整備部会

令和 7 年 9 月 5 日（金）18：30～

【校舎改修図面案について各委員からの意見】

1 階

- ・ 学年の教室の並びの意味は。 ⇒ 1 年生の安全性を担保するため
- ・ 美術室の大きさは十分か。 ⇒ 普通教室より広い。生徒数の減も視野にある。
- ・ 書庫と遠くなるが大丈夫か。 ⇒ 使用頻度が少ない。重要書類は耐火金庫に入れる。
- ・ 現在のエアコン設置状況。 ⇒ 普通・特別教室にある。改修では新設部屋に設置。
- ・ 職員室の広さは十分か。 ⇒ 開校時は 50 席確保。片袖机に変更している。
- ・ 職員室は学年割ごとでなくていいか。 ⇒ レイアウトはこれから。
- ・ 4 年生教室将来分けるのか。 ⇒ 児童数により 2 室にすることも可能。
- ・ トイレ和室はなくなるのか。 ⇒ 和式はなくなる。
- ・ 体育館の改修はどの程度か。 ⇒ アリーナに屋根をあげ防水・断熱確保予定。
- ・ シースルー下足入れとは。 ⇒ 背面がなく、高さ調節可能な靴入れ。見通しがきくというメリットあり。新設校での導入が増えている。職員室から見通せて安全性に配慮できるのと、昇降口の見え目が変わり、新しくなったという印象を与えられる。

2 階

- ・ 6 年生まで普通教室なのか。4－3－2 制ではないのか。
⇒ 学校運営のなかで考える部分。屋敷先生からもソフトとハードを分ける必要はないと言われた。
- ・ 木質化することでメンテナンスは必要にならないか。ささくれなども心配。
⇒ ささくれしにくい素材を選んで木質化する。
- ・ 黒板は電子黒板にするのか。
⇒ 全体の事業費をみて検討する。小学生教室には昇降式黒板を導入予定。
- ・ 7 年生の更衣室は。 ⇒ 3 階のホームベースで対応。

3 階

- ・ ホームベースに記載の 48 人とは。 ⇒ 開校時の 7～9 年生を想定

外構

- ・ 学校周りの設備等の改修は。北側の砂利部分とか。
⇒ 塗装などはしたいと思っている。アスファルトなども優先順位を決めてしたい。

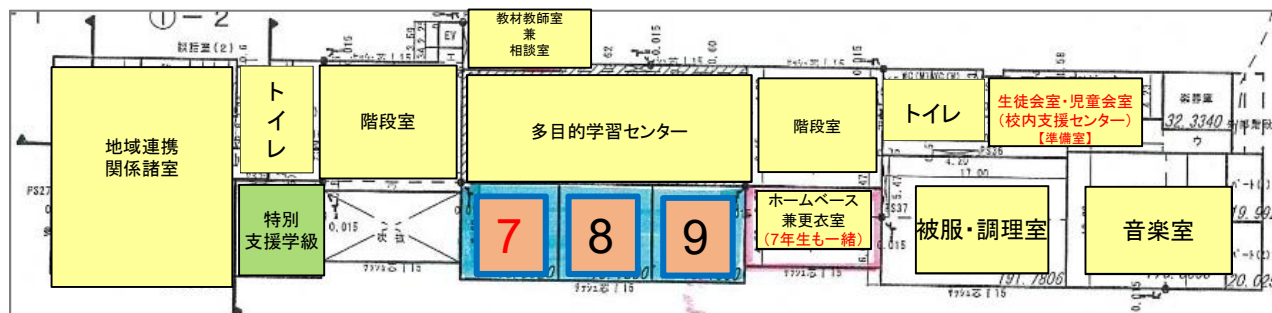
全体的なこと

- ・ 部屋割は熟知している先生方のご意見を伺っていただければと思う。子どもたちも順応すると思う。特別支援学級のバルコニーへの配慮。1 年生のトイレは間に合う距離か。階段の安全性などが気になるところなので、専門家と話ししてもらえれば。
- ・ クールダウンルームの場所はそこでいいのか。
⇒ 教室の近くにあった方がいいという意見もあるが、他の静かな場所に連れて行ってクールダウンさせるようなので、運用に任せたいと思っている。
- ・ 生き物は飼わなくなったのか。
⇒ 市内では現在なし。教師の負担増も要因の一つか。コミュニティースクールとしての地域の方々の力で対応する方法もあると思う。
- ・ 中庭への出入りはどこか。
⇒ 図面の▼がついているところ。内ズックで行けるようにしたい。
- ・ 体育館のギャラリーの安全対策については。 ⇒ 現状を見ながら検討予定。

校舎教室配置計画(案)

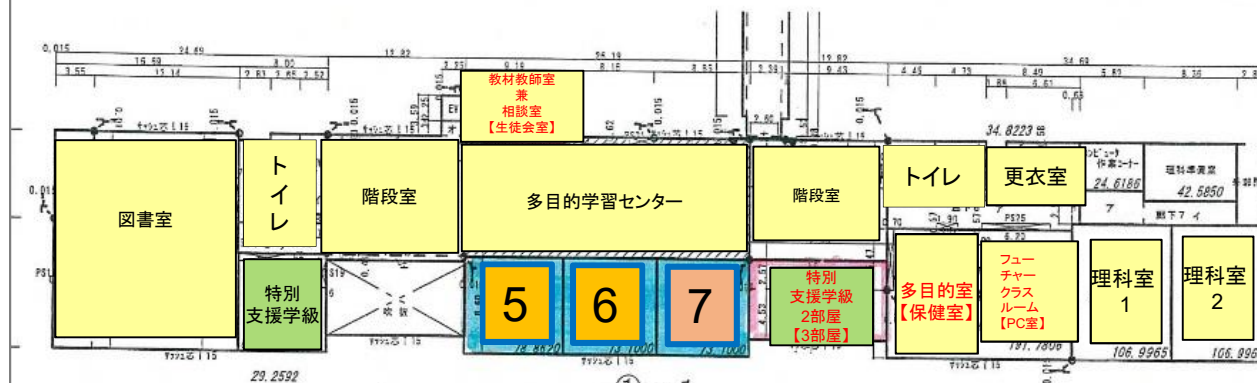
校舎整備部会

3F



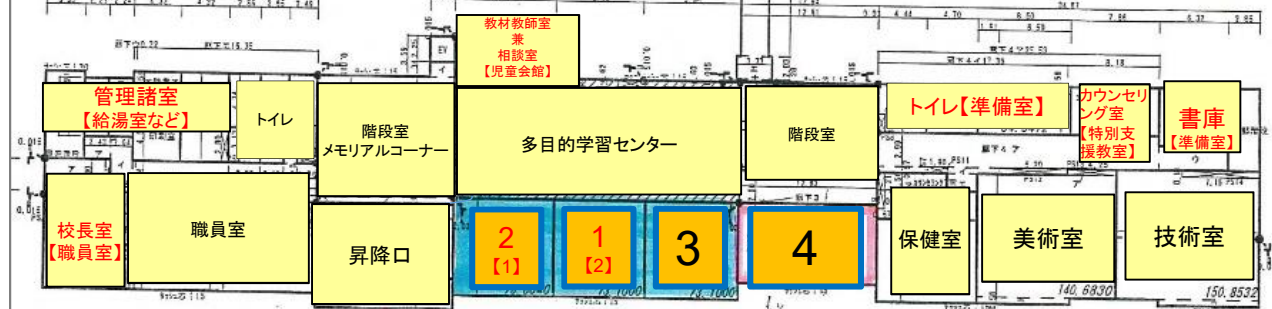
赤書き: 前回図面からの変更箇所
【カッコ内】前回図面での標記

2F



赤書き: 前回図面からの変更箇所
【カッコ内】前回図面での標記

1F



教科教室型

後期学年
8・9年

教科教室型

ホームルーム型

中期学年
5・6・7年

ホームルーム型

前期学年
1・2・3・4年

「葉山中学校校舎の改修」の主な概要

■学校内部の整備

No	項目	概要	説明
1	義務教育学校への対応	○職員室、保健室の拡張(1階) ○学年割4-3-2制への対応	○教員増(30人⇒約40人)への対応のため拡張します。 ○1階に4年生教室を整備するための改修を行います。
2	空間の改修	○内装木質化 ○フューチャークラスルーム(2階)	○空間への愛着を育むことができるよう、温かみのある空間に改修を行います。 ○大画面投影などできるワクワク空間への改修を行います。
3	安全対策	○階段室の安全対策 ○下足入れの改修(1階昇降口) ○重いドアの改修	○吹抜けに柵を設置し転落防止対策を行います。また、階段の隙間を埋め頭・手・足が挟まらないように対策を行います。 ○シースルー式下足入れを採用し職員室からの見通しがきくように配慮します。 ○重いドアによる指詰め防止対策として、ストッパーの設置または軽いドアに交換する改修を行います。
4	前期学年への対応	○多目的室を整備(2階) ○図書室(2階) 及び多目的学習センター(1階)に小学生用書架を設置	○前期学年の児童が音楽などの授業で3階まで移動することを極力少なくするため、2階に多目的室を設置します。 ○前期学年がリラックスして読書できるスペースを確保します。

■学校・体育館の外装、屋外環境、その他

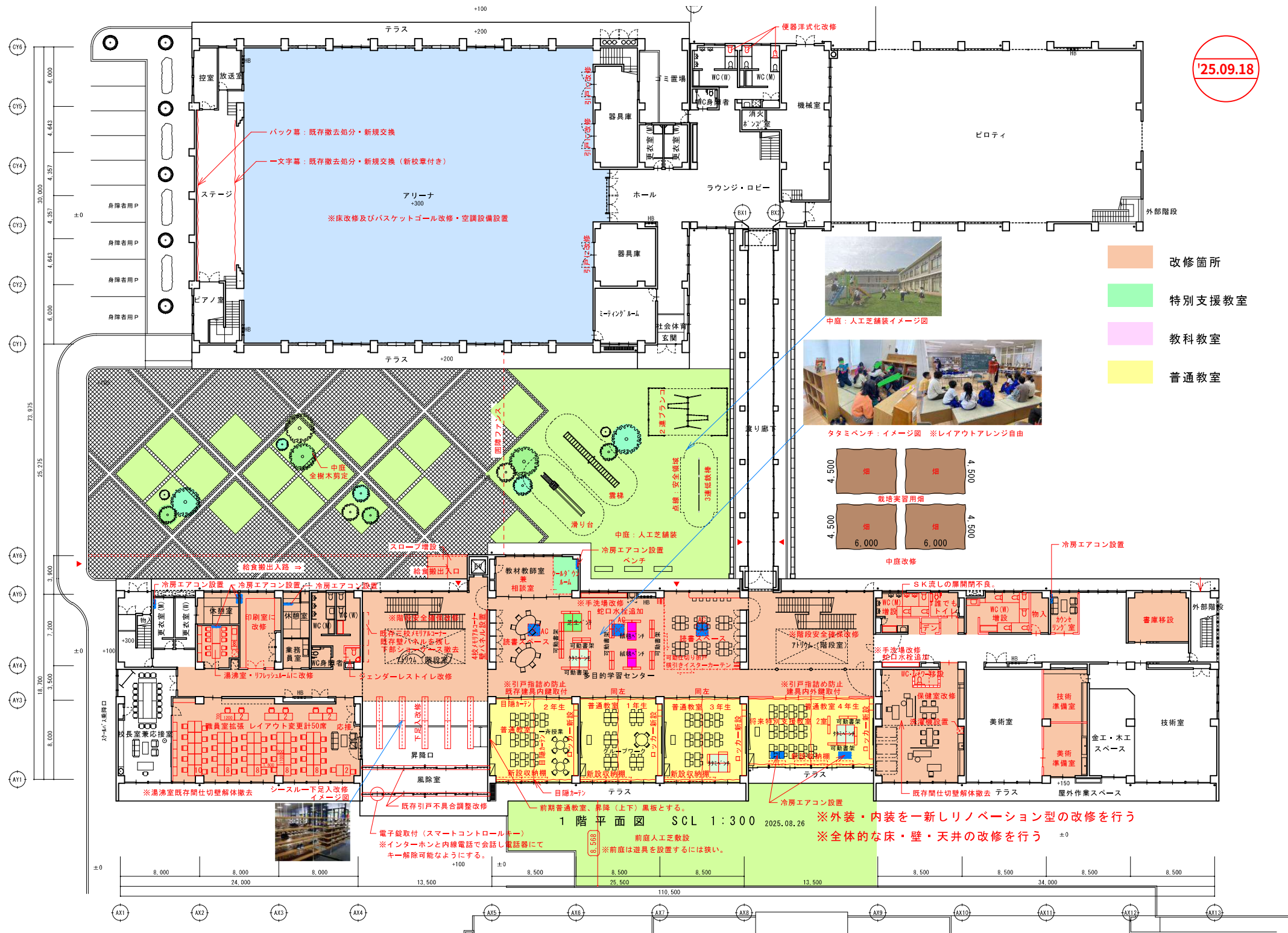
No	項目	概要	説明
1	外装	○外壁の改修 ○屋上防水改修	○外壁の修理及び塗装を行います。 ○雨漏りを直すため、屋上防水の修理や体育館に屋根を架ける工事を行います。
2	屋外環境	○外構(遊具整備、人工芝敷き)	○前期学年用の体力増進のため遊具を設置します。 ○栽培実習用の畑を作ります。
3	その他	○スクールバス車庫3台分の増築 ○空調設備改修及び設置 ○既存施設の修繕	○改修により部屋数を増やす部分への空調整備及び不調のある空調設備の修理を行います。 ○経年劣化により不具合のあるものの修理を行います。(床、壁、天井及び機械・電気設備など)

■改修工事期間

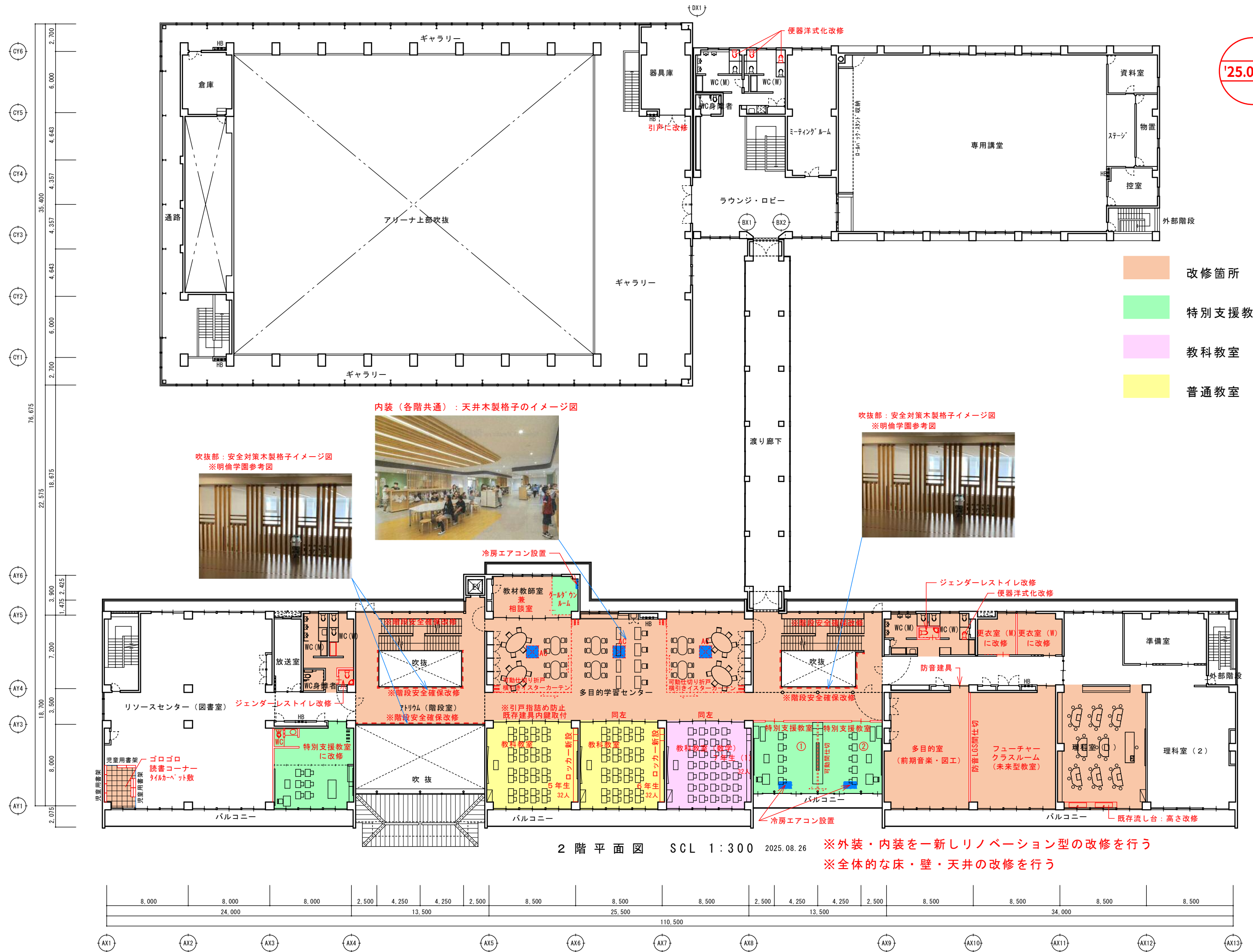
	令和8年度					令和9年度				
	4月	6月	9月	12月	3月	4月	6月	9月	12月	3月
校舎			内装、外装工事期間							引越し
体育館				内装、外装工事期間						引越し
			空調設置工事							
バス車庫 外構							工事期間			

令和8年度、令和9年度の具体的な工事範囲については教室の配置計画が決まってから葉山中学校と協議していくことになります。

'25.09.18



'25.09.18



'25.09.18

